

## 平塚市教育大綱の各基本方針に係る教育の現状と課題

### 1 確かな学力と豊かな育ちを培う教育環境の充実

子どもたちの生きる力を育むため、知識・技能だけでなく、学習意欲や考える力を含む「確かな学力」の向上を図るとともに、安心・安全で快適に学べる環境を整備します。また、子どもたち一人ひとりの健全な心と体を培い、豊かな人間性を育むとともに、人権を尊重した「いのち」と「こころ」を大切にする教育を推進します。

#### 《現状と課題》

- (1) 子どもたちが、変化の激しい予測困難な社会に主体的に関わり持続可能な社会の創り手となることができるように、基礎的な知識・技能のより一層の定着を図るとともに、思考力・判断力・表現力等の育成や主体的に学習に取り組む態度を養うなど「確かな学力」の向上に取り組む必要があります。
- (2) 学校教育における課題の複雑・多様化をはじめ、学校に求められる役割が増大しており、教員が多くの業務を抱え多忙化することで一人一人の子どもと向き合う時間の確保が難しくなっています。各学校のカリキュラム・マネジメントが確立できるように支援をする必要があります。
- (3) 習い事や趣味等の多様化に伴い、子どもたちの生活リズムは各家庭の状況によって様々な違いがあります。子どもたちの基本的な生活習慣の確立に向けて、家庭とも連携し、学習に向かう姿勢や運動習慣等の定着を図る必要があります。
- (4) 社会のグローバル化やICT環境の発展による情報化等が進み、人との交流や産業なども世界単位でのつながりが広がる時代となっています。外国語教育や情報教育を通して、多様な交流ができる人づくりを進めることが重要となっています。

### 2 子どもの育ちを支援する環境の充実

子どもや保護者の多様なニーズに対応するため、相談体制の充実を図るとともに、子育てを社会全体で支援する取組(※6)を進めます。また、子どもたち一人ひとりの教育的ニーズを把握し、それぞれに合った適切な支援や援助に努めます。

#### 《現状と課題》

- (1) 特別支援学級に在籍する児童生徒や外国につながる児童生徒など、支援を必要とする子どもは増加傾向にあります。社会的自立の基礎を学ぶことができるよう、子どもの成長や発達段階に応じて個々のニーズに応じた学習を展開する必要があります。特に特別支援教育へは関心が高まっており、様々な保護者のニーズや思いにも応えられるよう支援体制を整える必要があります。
- (2) 子どもたちが健やかな学校生活を送れるように、安全対策を進めています。いじめや問題行動等への対応にあたっては、学校、家庭、地域や関係機関が連携して取り組んでいます。近年ではSNS利用などのインターネット関連の対応も重要となってきています。

- (3) 様々な悩みや課題を抱えた児童生徒、保護者からの相談が増えています。それに対するきめ細かな対応や、より相談しやすい環境づくりを進める必要があります。
- (4) 経済の低迷や家庭環境の変化などから、経済的に困窮している家庭状況にある子どもたちが一定数います。教育の機会を確保するために継続的な支援が必要です。
- (5) 建設から30年以上経過した学校施設や設備等があるため、計画的に改修や修繕を実施し、教育環境の改善を図る必要があります。また同時に、学校施設のあり方については、少子化による児童生徒数の減少の一方で、特別支援学級や多様な教育ニーズの増加、区画整理事業やマンション開発に伴う一部学区の急激な児童生徒数の増加など、様々な要因を考慮しながら研究や対策を進める必要があります。

### 3 芸術・文化やスポーツ活動にふれあう環境の充実

生涯学習に対する市民ニーズに対応するため、多くの学習機会を提供するとともに、様々な学習活動を支援し、豊かな生活をおくることができる地域社会の実現をめざします。また、活力ある生き生きとした社会を形成するため、市民が様々な形でスポーツと関われる環境整備を進めます。

#### 《現状と課題》

- (1) 学びに関する市民の価値観や関心・意識が多様化しており、市民ニーズの幅が広がるとともに的確な把握が難しくなっています。その中でも、より多くの学習機会を提供し、習得した知識や技能が地域課題の解決のための実際の活動につながるよう取り組んでいます。
- (2) 生涯学習や地域活動における各取組に関わる参加者が固定化、高齢化する傾向があります。持続的な取組実施や新たな担い手となる人材確保のためには、若者や子育て世代の参加が増えるようにしていく必要があります。また、国籍や性別、障がいの有無、職業などに関わらず、多くの人々が地域に参画していけるように、様々な形の学びの場の提供や仕組みづくりも検討する必要があります。
- (3) 伝統的な文化芸能や無形文化財については、少子高齢化の影響やふれる機会の減少から継承することが難しくなっています。次の世代へ確実に受け継いでいくためにも、歴史や技術の保存に取り組むとともに継承する仕組みを構築することが必要となります。
- (4) 多くの市民が優れた美術や芸術、地域の歴史や自然などにふれる機会を提供しています。貴重な美術品や史料等の展示・保管のためには、施設設備の適正な維持管理や整備、収蔵スペースの確保等が必要となります。
- (5) ライフスタイルや環境の変化により、スポーツをする人とならない人が二極化している傾向があり、子どもや高齢者の体力低下、青・壮年期の運動不足による健康への影響が懸念されています。競技や遊びとして楽しむスポーツから、体力の向上や健康増進を目的としたスポーツまで、スポーツとの多様な関わり方、機会の提供が求められています。

以上